

**製品名: IgG1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12443**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	41kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IGHG1
別名	IGHG1; Ig gamma-1 chain C region
遺伝子 ID	3500.0
SwissProt ID	P01857
免疫原	抗血清はヒト IgG1 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 196-245

**背景**

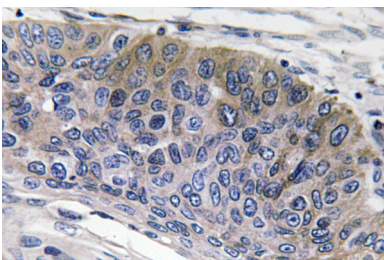
疾患: IGHG1 遺伝子に関連する染色体異常は多発性骨髄腫の原因となる可能性がある [MIM:254500]。CCND1 遺伝子との転座 t(11;14)(q13;q32); FGFR3 遺伝子との転座 t(4;14)(p16.3;q32.3); IRF4 との転座 t(6;14)(p25;q32)。,その他:疾患タンパク質 OMM

は、対立遺伝子型または別のガンマ鎖サブクラスを表す可能性があります。、その他:疾患タンパク質 WIS は、V領域の大部分と CH1領域のすべてを欠いています。、その他:疾患タンパク質 ZUC は、正常なガンマ3重鎖と比較して、V領域の大部分、CH1領域のすべて、およびヒンジの一部を欠いています。、その他:EU は、残基 155、166、177、195、198、269、および 272 のアミド化状態と、残基 268-272 の順序も異なります。、その他:KOL は、残基 198、267、および 272 のアミド化状態も異なります。、その他:Nie も異なります 35、116、198、269、272 のアミド化状態において、Nie は G1M(17)アロタイプマーカー 97-K と G1M(1)マーカー 239-D および 241-L を有する。KOL および EU 配列には、G1M(3)マーカーと G1M(非 1)マーカーがあります。、その他:ガンマ3鎖のヒンジ領域は他のガンマ鎖の約 4 倍の長さで、15 残基の同一セグメントが 3 つ含まれ、その前に同様の 17 残基セグメント (12-28) があります。、オンライン情報:IGHM 変異 db,多型:位置 191 および 216 における S/G および V/G 多型の 4 つの組み合わせすべてが、ヒト mu 鎖で観察されています。、細胞内位置:分化の過程で、B リンパ球は膜結合型 IgM の発現から IgM の分泌に切り替わります。、サブユニット:12 個のジスルフィド結合で連結された二量体。ヒンジ領域に通常存在する 11 番目の鎖間ジスルフィド結合に加えて、7 番目の鎖間に余分なジスルフィド結合が存在する。、疾患: IGHG1 に関連する染色体異常は多発性骨髄腫の原因となる可能性がある [MIM:254500]。CCND1 との転座 t(11;14)(q13;q32); FGFR3 との転座 t(4;14)(p16.3;q32.3); IRF4 との転座 t(6;14)(p25;q32)。、その他:疾患タンパク質 OMM は、対立遺伝子型または別のガンマ鎖サブクラスを表す可能性があります。、その他:疾患タンパク質 WIS は、V領域の大部分と CH1領域のすべてを欠いています。、その他:疾患タンパク質 ZUC は、正常なガンマ3重鎖と比較して、V領域の大部分、CH1領域のすべて、およびヒンジの一部を欠いています。、その他:EU は、残基 155、166、177、195、198、269、および 272 のアミド化状態と、残基 268-272 の順序も異なります。、その他:KOL は、残基 198、267、および 272 のアミド化状態も異なります。、その他:Nie も異なります 35、116、198、269、272 のアミド化状態において、Nie は G1M(17)アロタイプマーカー 97-K と G1M(1)マーカー 239-D および 241-L を有する。KOL および EU 配列には、G1M(3)マーカーと G1M(非 1)マーカーがあります。、その他:ガンマ3鎖のヒンジ領域は他のガンマ鎖の約 4 倍の長さで、15 残基の同一セグメントが 3 つ含まれ、その前に同様の 17 残基セグメント (12-28) が続きます。、オンライン情報:IGHM 変異データベース,多型:ヒト  $\mu$  鎖では、位置 191 および 216 における S/G および V/G 多型の 4 通りの組み合わせすべてが観察されています。、細胞内局在:分化の過程で、B リンパ球は膜結合型 IgM の発現から IgM の分泌へと切り替わります。、サブユニット:12 のジスルフィド結合で結合した二量体。ヒンジ領域に通常存在する 11 のジスルフィド結合に加えて、位置 7 に余分な鎖間ジスルフィド結合があります。、

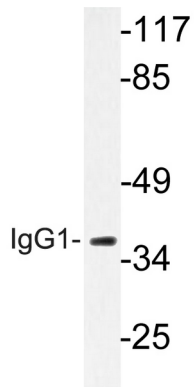
## 研究分野

-

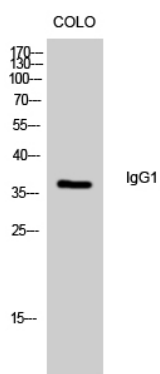
## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における IgG1 抗体の免疫組織化学分析。



IgG1 抗体を使用した LOVO 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



IgG1 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた結腸細胞のウェスタンブロット解析